

うどんこ病くん煙剤



# パンチョ<sup>®</sup>TF ジェット



いちご

きゅうり

メロン

トマト

花き類・観葉植物

## ■適用病害と使用方法

\*印は、収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

適用場所	作物名	適用病害名	使用量	使用時期	総使用回数*			使用方法
					本剤	シフルフェナミド	トリフルミゾール	
温室内 ビニールハウス等 密閉できる場所	いちご ちゅうりつ きゅうり メロン トマト	うどんこ病	くん煙室容積 400m <sup>3</sup> (床面積200m <sup>2</sup> ) ×高さ2m 当たり50g	収穫前日まで	2回以内	2回以内	5回以内	くん煙
	花き類・観葉植物				5回以内	5回以内		



日本曹達株式会社

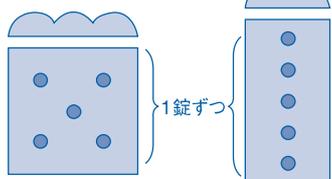
## パンチョTFジェットの 上手な使い方

- 予防(早めの防除)を重点に行なってください。**  
 発生前や発生初期から予防的にくん煙することで、優れた防除効果を発揮します。
- 連続使用はさけてください。**  
 耐性菌対策のため、本剤の連続使用はさけ、作用機構の異なる薬剤とのローテーションで使用してください。

### ■設置方法(10アールハウスの場合)

正方形に近い  
ハウスの場合

長方形の  
ハウスの場合



つり具は栽培作物の高さで  
つり下げるか、不燃性の台な  
どの上に乗せて使用する。

(台などを利用する場合も、  
必ずつり具を使用する。)

重ねて使用する場合には、  
2錠までとしてください。

### ■点火方法



①点火は以下の通りに行なってください。

●**点火紙を用いる場合**  
 同封の点火紙をつり具の所定の位置に正しく設置し、その上に薬剤をのせてから点火紙に点火します。点火紙を薬剤の上のせて点火すると、炎が出るのでさけてください。発煙直後に万一炎が出た場合は吹き消してください。点火後発煙を確認したらくん煙室の外に出て、そのまま放置してください。

退室後に炎が出た場合においても、再びくん煙室には入らずに、そのまま放置してください。

●**電気式点火・くん煙装置を使用する場合**  
 装置は水などに濡れないように設置し、電源がオフになっていることを確認のうえ、薬剤を装置の所定の位置に正しく設置した後に通電してください。点火後発煙したら電源のオフを確認し、くん煙室の外に出てそのまま放置してください。発煙直後に万一炎が出た場合においても、再びくん煙室に入らずに、そのまま放置してください。

②点火後は、くん煙終了時までくん煙室に入らないでください。

### ■使用薬量の決め方

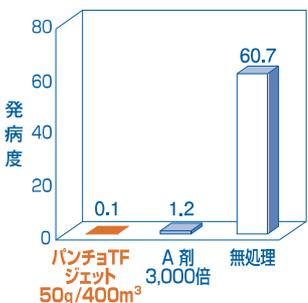
くん煙剤はハウス容積を正しく測り、  
適切な薬量を使用してください。

ハウスの面積	200m <sup>2</sup> 約61坪	600m <sup>2</sup> 約182坪	1,000m <sup>2</sup> 約303坪
ハウスの容積 (高さ2mとして)	400m <sup>3</sup>	1,200m <sup>3</sup>	2,000m <sup>3</sup>
使用量	1 錠	3 錠	5 錠

## ■うどんこ病に対する効果

### ●メロン

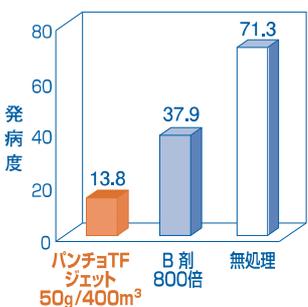
(社)日本植物防疫協会研究所 高知試験場 (2003年)



品 種：アールスメイト  
 試験場所：場内ビニールハウス  
 処理日：10/17,27  
 調査日：11/14  
 発 生：初回処理時、下位6葉に病斑を確認。2回目処理時、無処理区で下位11葉に病斑を確認。その後急激に進展し最終調査時は多発性。  
 調 査：下位7葉以上の10葉の発病を程度別に調査し、発病度を算出。

### ●トマト

滋賀・油日アグリサーチ(株) (2010年)



品 種：ハウス桃太郎  
 試験場所：ガラス温室  
 処理日：7/12,20  
 調査日：7/26(2回目処理6日後)  
 発 生：多発生(接種)。初回処理時に接種葉と接種葉から上位2,3葉にうどんこ病の発病を認め、調査時まで多発生となる。  
 調 査：初回処理時に発病していなかった上位葉(1ヶ所100葉、1区3ヶ所)について発病程度別に調査し、発病度を算出。

## ⚠️ 効果・薬害等の注意事項

- 温室・ガラス室・ビニールハウス等、防除しようとする室の戸や窓を閉め、室内の可燃物を取り除き、室の容積によって使用量を決め、必要に応じてくん煙箇所を数箇所に分けて配置し、煙が満遍なく行きわたるようにしてください。
- くん煙する場合は、添付のつり具または所定の電気式点火・くん煙装置を使用してくん煙してください。つり具及び電気式点火・くん煙装置はつり下げるか、または不燃性の台などの上のせて使用してください。なお、植物体・可燃物から離れた中央の安全な場所に設置してください。特にビニールなどの被覆材とは、60cm以上離れた位置で使用してください。
- 定植直後または幼苗、軟弱徒長苗等には使用しないでください。(薬害)
- うり類の幼苗期には濃緑化症状および生育抑制が生じることがあるので、使用しないでください。
- 高温時のくん煙は薬害を生じるおそれがあるので、日中のくん煙はさけ、夕方からくん煙し、翌朝開放してください。
- 室外で強い風が吹いている時は煙が片寄ってしまい、均一な効果が出にくいので使用しないでください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種にはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。

●使用に当たっては、使用量・使用時期・使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

### 〈メロンへの影響〉

●ハウスなどの施設栽培メロンに使用する場合、特にネット系メロンでは、交配2〜3日前から交配20日後までの幼果の時期には、薬害を生ずるおそれがあるので、この時期の使用はさけてください。

## ⚠️ 安全使用上の注意事項

- 医薬用外劇物です。取り扱いには十分注意してください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当てを受けてください。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- 点火などの作業の際は、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣等を着用してください。作業後は直ちに手足・顔等を石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物などとの接触をさけてください。
- くん煙中はハウス内に入らないでください。また、くん煙終了後はハウスを開放し、十分に換気した後に入室してください。

保 管：密栓し、火気や直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した所に保管してください。点火紙も同様です。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2022年10月現在の登録内容に基づいています。



日本曹達株式会社

〒100-8165 東京都千代田区大手町2丁目2番1号  
 お問い合わせ(03) 3245-6178  
 (平日9〜12時、13〜17時、土日祝祭日を除く)



最新の登録内容



使用方法(動画)